

梅窓院通信

青山

十夜号

No.115
2021/10/01

住職挨拶

梅窓院第二十五世 中島 真成

表紙を飾る相輪は、大正時代に造られた梅窓院講堂の屋上に聳^{そび}えていたもので、梅窓院のシンボルでした。この相輪を見上げたことのある方もいらっしゃることでしょ

う。さて、なかなか終息の見えないコロナ禍。ワクチン接種も進んでおりますが、2度目の接種を済まされても感染対策を取り続けたいものです。梅窓院の各種行事も十分な感染対策をしながら行っています。YouTube配信でお届けしています各種法要にも宜しければご参加下さい。

また前号より、『青山』と一緒に『浄土宗新聞』を同封させて頂いています。『浄土宗新聞』は浄土宗社会部から月1回発行されている新聞で、多くの檀信徒の方々にお読み頂きたいと無償化されました。この『浄土宗新聞』10月号に当院の副住職が原稿を寄せています。お読み頂ければ幸いに存じます。

そして1964年以来、2度目の東京オリンピック、パラリンピックが無事に閉会しました。このオリンピックのメイン会場となる国立競技場が近いこともあり、青山通りの交通規制が実施されました。車で梅窓院にお参りに来られた皆様にご迷惑をかけたことと存じます。

最後になりましたが、1日も早くコロナ禍が終息して皆様とお会いできることを祈念申し上げます。

十夜法要

十二月二十日(土)

十夜法要

午後一時～ 本堂

本年の十夜法要は、檀信徒の皆様にお焼香頂けます。
ご先祖様への大切なご供養にもなりますので、
宜しければ本堂へお参り下さい。

感染予防のため、お席のご用意はございません。また、マスクの着用、
手指の消毒・除菌にご協力をお願い申し上げます。
なお、お塔婆は法要後に僧侶にて建てさせていただきます。

十夜によせて

お経の言葉③ 「兵戈無用」
（『無量寿経』下巻）

～仏様が行くところは平和になる!?～

晩秋の候、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

お経典より一語選びまして、お話させていただきました。ま
すシリーズ「お経の言葉」の第三回。私共が抛り所と
いたします『無量寿経』より「兵戈無用」を取り上げ
ます。

私共浄土宗で元旦の修正会などにお称える祝聖文
という偈文があり、左記の一文です。

「天下和順 日月清明 風雨以時 災厲不起
国豊民安 兵戈無用 崇徳興仁 務修礼讓」

意味をとりますと「天下が穏やかに治まり、太陽と
月は清らかに照り、雨風は時節に相応しく、災害や疫
病は起こらず、国豊かに民安らかで、兵隊や武器の出
番はなく、人々に仁徳が興隆し、つとめて礼儀正しく
過ごすでしょう。」

どうしたら、現実世界がこのように理想的になるの
でしょうか。答えはこの経文の直前にあります。

「佛所遊履 國邑丘聚 靡不蒙化」

「仏様のおでまし賜わる所は国家から村々集落にいた
るまで、教化（教えを説き、導く）を蒙らない所はな
い。」つまり、仏様が教えを説いた場所では、人々が
道を踏み外すことなく仏道を修め、結果天下が穏やか
に治まり、災害も疫病も戦争もない、ということにな



昨年の十夜法要

十夜回向に関するお知らせ

十夜法要に關しましては、塔婆の申込はがきに「回向のみ」も一緒に申込みができます。それぞれ冥加料が異なりますのでご注意ください。また、塔婆、回向のみは「〇〇家先祖代々」のみとさせていただきますので「ご」承下さい。

塔婆回向一本 七千円
回向のみ一霊 三千元

●お申込み方法

同封はがきにご記入の上、十一月十日必着でお申込み下さい。

はがきの書き方は同封の「書き方例」をご参照下さい。

●お支払い方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、当院受付までお持ち下さい。銀行・コンビニのお支払いはできません。

ご不明な点は梅窓院受付までお問い合わせ下さい。

十夜法要とは

秋になると故郷の実り多い田畑を思い出される方も多いでしょう。十夜法要は浄土宗が大切にしている念仏を称える法要です。そして、五穀豊穰を感謝する四季折々の季節感が溢れる日本ならではの行事です。

法要の様子を **ライブ配信** 予定です。

詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.baisouin.or.jp/>
QRコードからもアクセスできます。▶



(法務部 中島真紹)

合掌

ります。
さて、改めて「兵戈無用」ですが、「兵、戈を用いることなし」ですから、平和になることをいいます。平和は古来より人々の願いです。しかしながら、いつの時代も人間の欲深さが勝り、仏様がまさに今世にましまして、教えを説いてくださるその時代でやっとなされる大事といえるのかもしれない。

この夏、自衛隊のブルーインパルスが青空に五輪を描きました。いつか世界中の戦闘機が曲芸飛行の専用機に代わることを願っております。

まもなくお十夜の大法要を迎えます。本法要もYouTube配信いたしますので、どうぞ一緒にお十念をお称えいただければ幸いです。ごさいます。

行事予定

十夜法要

11月20日(土)

法要開始 午後1時～

※YouTubeにて法要の様子をライブ配信予定です。詳しくは2、3面をご覧ください。

撮影報告

10月13日(水)にNHK総合にて放送された『ロコだけが知っている』の番組内で梅窓院を創建した青山家14代当主の実弟で、郡上市にお住いの
が取り上げられました。
梅窓院も菩提寺として登場し、取材陣が訪れました。

青山家14代当主後見人の
が青山家の墓前にて由緒を説明されました。

墓参される皆様へ

梅窓院では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、安全衛生対策を強化し、各所に除菌水の設置や換気の対応をしております。ご来寺された際、手指消毒にご利用下さい。

また、マスクのご持参・ご着用、咳エチケットなど可能な範囲にてご協力頂けますと幸いです。

体調にご不安のある方はくれぐれもご無理なさらないようお願い致します。

大変恐縮ですが、どうぞご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

発行 梅窓院
発行日 令和3年10月1日
発行人 中島 真成
編集 青山文化村
住所 〒107-0062
東京都港区南青山2-26-38
電話 03-3404-8447
FAX 03-3404-8107
ホームページ <https://www.baisouin.or.jp/>
E-Mail jodo@baisouin.or.jp
題字 中村康隆元浄土門主
総本山知恩院第八十六世門跡

梅窓院のお墓とペット供養の窓口

ジャパンエキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

先日、実家のお墓参りに行きました。いつも目印にしているお墓があったのですが、そのお墓が無くなっていたので曲がる所を間違えそうになりました。結構広い区画のお墓だったので、どうなったのでしょうか？

梅窓院にお墓を建てられる方のうち、かなりの割合で地方からの改葬(お墓の引越し)があります。家族総出・一大行事のお墓参りより、いつでも気軽にお参りできる方が良いですね。私が目印にしていたお墓の持ち主はどちらにお引越されたのかな?と思いながら実家の墓参をしました。

皆様のお知り合いなどでお墓を探している方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。

さて、この『青山』が皆様のお手元に届く頃、まだお墓参りがなかなかできないかもしれません。植木や雑草は元気ですよ。墓石洗い、草むしり、代参などお気軽にお問合せ下さい。皆様と元気で会える日が早く来ることをお祈りしております。

(墓苑部:森)

お檀家さんに伺いました

令和3年 電話取材にて

『大切なご縁をこれからも』

梅窓院の檀家になったきっかけは、他のお寺さまからの紹介です。最初はビルのような建物の中にお堂があり、驚きました。現代的で構えが立派でとても素敵だと思います。いつも職員の方に親切に頂いているので、感謝しております。

また、憧れていた詠唱会に入会して会員の皆さんと楽しく練習をおこなっています。

コロナ禍でも会員の方と連絡を取り合っており、かけがえのないご縁を繋いで頂きました。

飲食店を経営されているお檀家様へ

年4回掲載の「青山散歩道」コーナーにて掲載にご協力頂ける飲食店を募集しております。檀信徒様で、掲載希望の方、取材・インタビューにご協力頂ける方がいらっしゃいましたら、梅窓院受付もしくは下記の連絡先までご一報下さい。

〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38 梅窓院青山文化村
TEL:03-3404-8588 FAX:03-3404-8436 E-mail:bunkamura@baisouin.or.jp

第十七回 梅窓院 文化講演会

講師 宇高 良哲 上人

(大正大学名誉教授・文学博士・十連寺前住職)

日時 10月23日(土)

場所 梅窓院 祖師堂 開場 午後1時15分

開演 午後2時(講演90分) 終演 午後3時30分予定



入場無料・先着50名
事前申込制

定員に達したため、受付を終了致しました。
キャンセル待ちをご希望の方は、下記までお問合せ下さい。
※お席をご用意できた場合のみ、ご連絡致します。

【お問合わせ・キャンセル待ちお申込み】

梅窓院 青山文化村 〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38
TEL:03-3404-8588 FAX:03-3404-8436 E-mail:bunkamura@baisouin.or.jp